

## 第6回 市川市庁舎整備基本構想策定委員会 会議概要

- 1 開催日時：平成24年10月30日(火) 午前10時00分～午後0時05分
- 2 場 所：市川市役所本庁舎3階 第5委員会室
- 3 出席者：  
委 員 天野委員、岩井委員、歌代委員、加藤委員、川岸委員、金子委員、北嶋委員、  
木戸委員、黒川委員、竹内委員、戸坂委員、戸村委員、中村委員、三木委員、  
横尾委員（欠席者 なし）  
市川市 岡本企画部部長、鈴木企画部次長、吉野企画部次長、佐野企画・広域行政課課  
長、岩井庁舎整備推進担当室室長、竹内主査、赤坂主査  
コンサルタント 3名
- 4 議 題：
  - (1) 第1号 前回の会議概要の確認について
  - (2) 第2号 新庁舎の基本方針と機能・規模・場所について
  - (3) その他

### 《 資 料 》

- ・資料1 庁舎整備基本構想策定委員会答申素案
- ・資料2 基本構想答申素案に定義した整備方針ごとの面積積み上げ表

## (1) 前回の会議概要の確認について

- ・委員会にて意思確認がされたと思われる部分について枠囲み表記としていたが、必ずしもそうとは言いきれない部分が含まれているという指摘から、枠囲みの表現は外す。  
→了解。前回の会議概要については確認。

## (2) 新庁舎の方針と機能・規模・場所について

- ・最終的な答申は、資料1のような形を想定しているのか。  
→この資料1は説明用のものである。
- ・想定床面積の検討にあたり、各プランの法的な上限値は。  
→各案の上限値はA案 39,100 m<sup>2</sup>、B案 36,200 m<sup>2</sup>、C案 54,000 m<sup>2</sup>、D案 54,000 m<sup>2</sup>となる。
- ・トータルな延べ面積といっても、空間（敷地）的な余裕があるのとないのではイメージが全く異なる。敷地の大・小によるメリット・デメリットも評価に加えるべき。
- ・資料には個々の面積の積み上げが書いてあるが、最終的にはトータルの面積で答申し、個々の面積については設計で検討するということがよいか。  
→現時点では、どのような構想としてとりまとめるかは決まっていないが、この資料は規模の検討の参考とするために作成したものである。最終の答申はおおよその規模でよいと考える。
- ・面積比較のなかで国の基準とあるが、超えても問題ないか。  
→総務省から地方債の許可を受けるための同意基準である。各基準ごとに超えてはいけないのか、全体で超えてはいけないのかは協議によることとなる。
- ・面積の設定について、現状に対してα倍にするという考え方の部分を確認したい。  
→窓口については、ワンストップサービス窓口（総合窓口）に必要とされるであろう面積を想定して2倍としたものであり、共有部分や食堂、倉庫については配置職員の増加による割増分として1.2倍としたものである。
- ・バリアフリー化のために共有部分を全て1.3倍するのはどうか。  
→利用者だけでなく、職員や議員の中にも障がいを持つ方などを想定しており、庁舎全体についてバリアフリー化を考えている。
- ・基本方針には4つの役割が示されているが、4つとも同じでなく、市民サービスに重点を置くべきではないか。  
→そのように考えている。
- ・面積を増やすべきところは増やすとして、面積を増やさなくても利用の仕方や設計の工夫でコンセプトが実現できる部分も書かれているか。  
→（例として、多様な媒体による情報提供等を進めることや、執務空間はユニバーサルフロアを導入するなど）ご指摘の点も配慮している。

- ・庁舎における災害時の水や食糧の備蓄量や非常用電源の確保量について、3日分という基準はあるのか。  
→市の地域防災計画で、3日間は自力での対応ということで設定している。
- ・備蓄量は3日間で問題ないか。日本は地震帯の上であり、一週間孤立しても大丈夫という考え方でも良いのでは。
- ・千葉県の地域防災計画が見直されている。それも踏まえたものとするべきである。  
→3.11の課題も含め、地域防災計画については見直しを実施している。備蓄量については、担当部署（危機管理室）と再調整をする。
- ・総合耐震計画基準の最高水準は一般建物の1.5倍というが、全ての新庁舎の建物がそうあるべきということか。  
→そうである。
- ・規模については、全体として、市民サービスを優先した中で、行政事務の部分（スペース）を国基準より圧縮している。特に倉庫の規模を抑えてあるが、役所は書類の保管が重要であり、将来を見据えた上で余裕を持たなくても良いか。  
→庁舎外に倉庫を借りている状況であり、できれば集約したいと考える。再度、担当部署（総務課）と調整させていただきたい。
- ・議場の傍聴席については、最近ではフラットな形態で傍聴席と近い事例も見られるが、妨害行為などもあり、階を分けるなど、しっかり議論ができる環境づくりをしてもらいたい。  
→議会事務局と調整の上、考慮していく。
- ・再生可能エネルギーの導入については、限定的な記述は避け、具体例を挙げ、今後省エネルギー効果も含め検討していく旨の記述が良い。

### （3）庁舎整備候補地の現状及び職員の消費行動調査結果について

- ・D案の敷地については、土地の状況に課題がある中で、委員会として選択する4案の一つとして残すのか。  
→市として情報を提供していく中で、委員会としての判断を仰ぎたい。
- ・候補地を委員会で判断する場合、所有者との交渉や土地の造成等に係るスケジュール等のデータを提供してもらいたい。
- ・土地の現状について、安全性の評価に入れるべきではないか。

### （4）その他について

- ・第7回委員会は11/19（月）PM3:00～、第8回委員会は12/26（水）AM10:00～。
- ・第7回は「規模」や「場所」について絞り込みを行いたい。
- ・第8回は基本構想素案のブラッシュアップを行っていきたい。そこで、「思案（素案）」について意見があれば、事前に事務局に伝えてほしい。